

ジャワ古典文化論講義

第3週 2007年10月19日

テーマ：インド的歴史・時間観

参照：<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/0200/0250/>

ねらい

古代インド人は、この世界（宇宙）の始まり・変化・終わりについて、独特の「歴史・時間」観を作り上げた。ここで「歴史・時間」というのは、現実の出来事の継起という意味ではなく、神々と英雄をめぐる語りにも語られる過去から未来にいたる時空間（time-space）のことである。今週は、東南アジアにも多大な影響を及ぼしたインド的歴史・時間観について、主としてヒンドゥー教の視点から理解をはかる。

1. ヒンドゥー教の神々

- ヴェーダの神々：バラモン教の神々。自然現象の神格化。例：アグニ神（火神）、インドラ神（帝釈天）。
- プラーナの神々：ヒンドゥー教の神々。民衆信仰に起源。人格神。
- トリムルティ（三位一体）：宇宙の創造・維持・破壊を司る3大神
- ブラフマー（梵天）：宇宙の創造。サラスヴァティー。
- ヴィシュヌ：宇宙の維持。ラクシュミー。
- シヴァ：宇宙の破壊。パールヴァティー（ウマー）。

2. 宇宙の生成と消滅

- 四つのユガ。1年=360年。1マハー・ユガ=12000年=432万年。
- クリタ・ユガ：正法の時代。4800年。
- トレーター・ユガ：正法の4分の1が欠ける時代。3600年。
- ドヴァーパラ・ユガ：正法が半分欠ける時代。2400年。
- カリ・ユガ：正法の4分の3が欠ける。現代。1200年。

3. 仏教とヒンドゥー教の宇宙の違い

- 創造主なし。「衆生」の「業」によって生成・消滅。
- 宇宙はヴィシュヌ神の「創造物」であり、かつ、「権限」。

4. アヴァターラ：ヴィシュヌ神の10の化身

- 魚（クリタ・ユガ）
- 亀（クリタ・ユガ）
- 猪：ヒラニヤークシャ。（クリタ・ユガ）
- 人獅子：ヒラニヤカシプ。（クリタ・ユガ）
- 矮人（こびと）：バリ。（トレーター・ユガ）
- パラシュ・ラーマ（斧を持つラーマ）（トレーター・ユガ）
- チャンドラ・ラーマ：ラーマーヤナ（トレーター・ユガ）
- クリシュナ：マハーバーラタ（ドヴァーパラ・ユガ）
- ブッダ（カリ・ユガ）
- カルキ（カリ・ユガ）

参考図書：今回の講義のテーマに関わるもの

定方 晟. 1985. 『インド宇宙誌』春秋社.

長谷川 明. 1997. 『インド神話入門』（とんぼの本）新潮社.